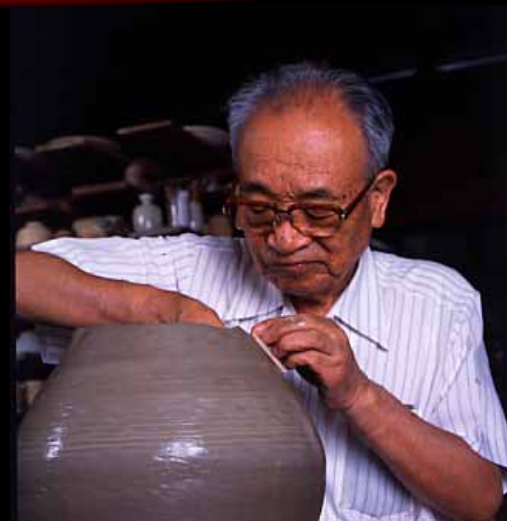


中里逢庵氏の遺作 11 点を 寄贈いただきました



中里逢庵氏略歴

- 大正12年 唐津市に生まれる
- 昭和18年 東京高等工芸学校（現千葉大学工学部）工芸図案科卒業
- 昭和26年 第7回日本美術展にて、陶彫「牛」初入選
- 昭和33年 第1回日展において、叩き壺「牛」特選受賞
- 昭和36年 第3回日展入選作「壺」により昭和35年度日本陶磁協会賞受賞
- 昭和44年 十三代中里太郎右衛門を襲名
- 昭和56年 第13回日展において、
「叩き唐津三島手付壺」内閣総理大臣賞受賞
- 昭和59年 第15回日展出品作「叩き唐津手付瓶」により、
第40回日本藝術院賞受賞
- 平成4年 佐賀県重要無形文化財保持者に認定
- 平成14年 京都大徳寺にて得度し、庵号「逢庵」を授かる
- 平成16年 論文「唐津焼の研究」で博士（学術）号を取得
- 平成19年 日本藝術院会員に就任
- 平成20年 旭日中綬章受章、日展顧問に就任
- 平成21年 3月12日逝去（85歳）、正五位を授与される



唐津翡翠魚文搔き落とし俵壺



ご寄贈作品の概要

寄贈者 中里忠寛（十四代中里太郎右衛門）氏

寄贈理由

「中里~~達~~庵の代表的作品を多くの人たちに鑑賞していただきたい。また、県関係に陳列してある作品も佐賀県が焼物文化の里である事を示し、唐津焼と佐賀県のピーアールを行ってほしいと希望します」（寄贈者のコメント）

内 容 11点

- ・昭和52年の作品から平成13年の作品まで
日展出品作品6点、日展出品作品以外の作品5点



叩き面取瓶



中里逢庵氏の主な作品



叩き唐津三島耳付壺
昭和57年作品



叩き唐津三島象嵌瓶「澤」
昭和62年作品



叩き面取瓶
平成4年作品



叩き唐津象嵌魚文壺「玄海」
平成7年作品



叩き唐津青磁多彩象嵌魚文壺
平成12年作品



叩き三島象嵌貝焼締魚文壺
平成13年作品



寄贈作品の展示

中里達庵作品特別展示

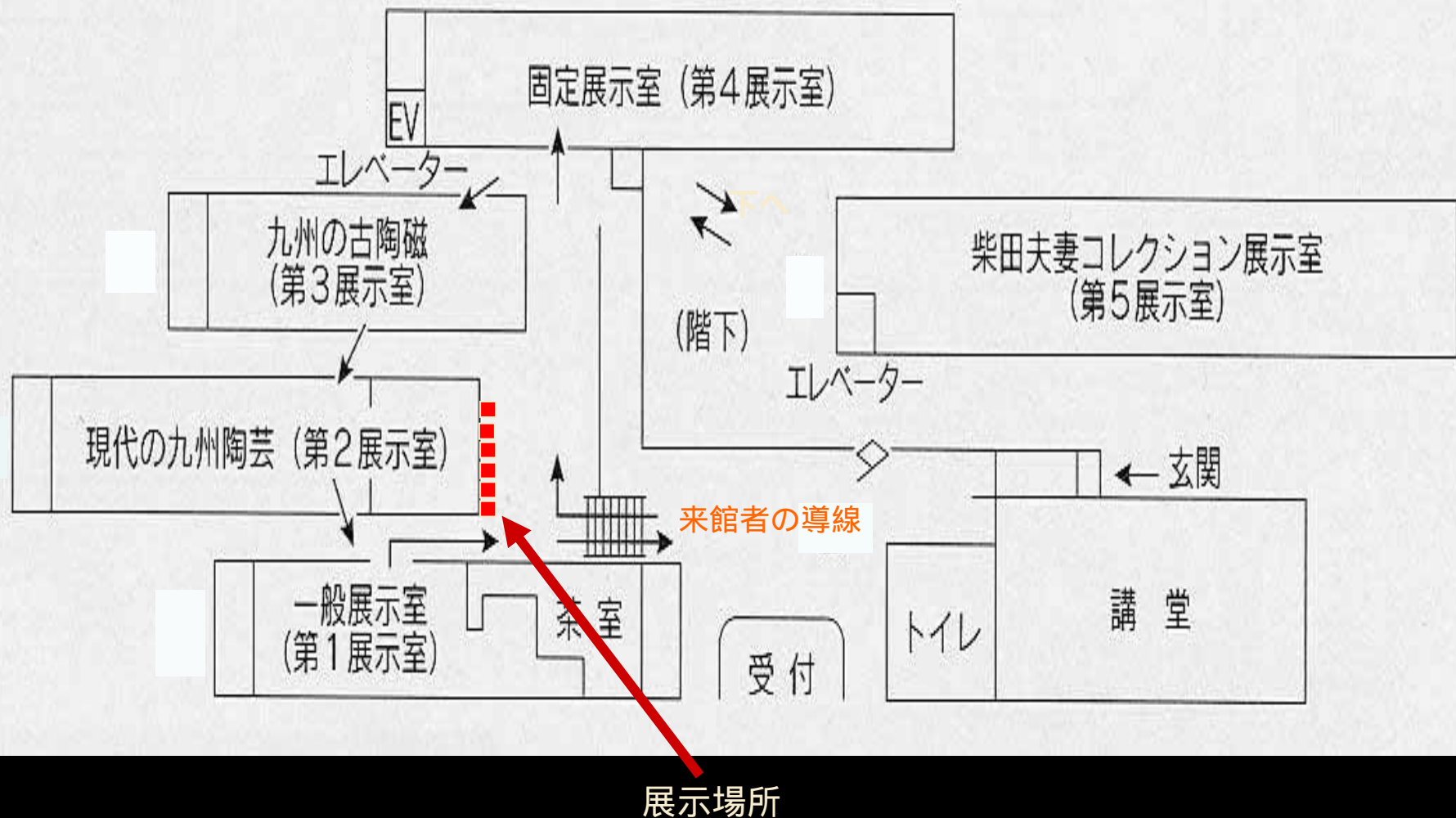
- 1 日 時 平成22年1月1日(金)～1月31日(日)
9時～17時
- 2 場 所 佐賀県立九州陶磁文化館 展示ホール
- 3 内 容 寄贈いただいた中里達庵氏作品11点の中から、
日展出品作品6点を展示
- 4 観覧料 無 料
- 5 展示解説 9日(土)13時30分から

知事感謝状の贈呈

- 日 時 平成21年12月28日(月曜日)14時15分～
場 所 佐賀県庁 来賓室



中里逢庵寄贈作品の特別展示コーナー





中里逢庵作品特別展示

場 所 佐賀県立九州陶磁文化館

期 間 平成22年1月1日〔金〕～ 1月31日〔日〕

新春の皆様のご来館をお待ちしております